

導入事例 Microsoft - Surface Hub

Your trusted.
TECHNOLOGY
AND
SOLUTION
Report

コミュニケーションを変える。

パフォーマンスを最大化する。



Phone Appli

Phone Appliは、コミュニケーション関連アプリケーションの開発・提供を通じて、さまざまな企業のコミュニケーションのあり方を変革してきた企業です。だからこそ、自社内においても最高のIT環境を整えることに注力してきたといいます。コミュニケーションを円滑にするツールが数ある中、なぜ『Surface Hub』を導入を決断されたのか。ソリューション&コンサルティング部の針原氏とマーケティング本部の北村氏にお話を伺いました。

Index

- POINT 01 | 「リアル」と「リモート」のギャップをなくす
- POINT 02 | 部門を越えて。必要なときに。自由になったミーティングスタイル
- POINT 03 | 時間や資源の無駄を、限りなくゼロへ
- POINT 04 | 働き方の可能性を広げる多彩な機能



POINT 01 | 「リアル」と「リモート」のギャップをなくす

「最高のオフィス環境を実現するために、『Surface Hub』は不可欠でした。」



ソリューション&コンサルティング部

針原 昌也氏

マイクロソフト製品の技術責任者および日本マイクロソフトとのアライアンス責任者として、自社内でのマイクロソフト製品の利用を啓蒙。

2018年に本社を今の場所に移転したのですが、そのときに、「最高のオフィス空間」と「日本一のIT環境」を整えたいと考えたんです。我々自身がコミュニケーション関連のアプリ開発に携わっていることもありまして、「働き方改革」のロールモデルになりたいという想いもありました。

そうして生まれたのが、社員一人ひとりがパフォーマンスを発揮し、健康的に自分らしく働くことができるオフィス空間「CaMP (Collaboration and Meeting Place)」です。アウトドアを想起させる空間には、「テント」や「パーク」など、さまざまなコンセプトのスペースを配置。フリーアドレスを導入することで、一人で集中したいとき、チームで働きたいときなど、そのときの気分や状況に合わせて働き方を自由にチョイスできます。

また、在宅ワークや打ち合わせなどで、オフィス

を不在にする社員も少なくないため、リアルとリモートのギャップをなくす必要もありました。その課題を解決するために選んだのが『Surface Hub』だったんです。



場所に縛られずに状況に合わせて、働く場所と働き方を選択できる「CaMP」。在宅ワークや外出時のメンバーを『Surface Hub』を起点にネットワークしている。

POINT 02 | 部門を越えて。必要なときに。自由になったミーティングスタイル



オープンスペースに置かれた『Surface Hub』で、社員同士のコミュニケーションが向上し、ディスカッションしやすい空間に。

実際に導入してみて良かったと感じる点はいくつもありますが、まず挙げられるのは、ビデオ会議の質が大きく変わったこと。ビデオ会議自体は、オフィス移転前から取り入れていたのですが、一般的なパソコンのディスプレイサイズだと、どうしてもミーティングに参加できる人数に限りがありました。『Surface Hub』は大画面ですから、大人数のミーティングでもメンバー全員が積極的に参加することができます。また、ミーティングルーム以外でもオープンスペースに1台設

置しているのですが、打ち合わせ中にプロジェクトに関わっていない社員が気軽に参加するといった、部門や立場を超えた新しいコミュニケーションも生まれるようになりました。さらに、時間を決めてミーティングをするのではなく、必要なときに必要なメンバーで実施するといったアドホックな打ち合わせも増加。ミーティングの自由度がグンと高まったと感じています。

POINT 03 | 時間や資源の無駄を、限りなくゼロへ

「さまざまな面で効率がアップしたと実感しています。」



マーケティング本部

北村 隆博氏

セールスマーケティング/コーポレートマーケティング担当。イベント企画やセミナー等を通じて働き方改革の推進に貢献。

便利な機能はたくさんありますが、中でもよく使っているのは「Microsoft



Whiteboard」ですね。ミーティングの内容をその場でまとめたり、大画面の特徴を活かして複数人でアイデアを書き合ったりと、従来のホワイトボードと比べても使用感にまったく遜色はありません。書き心地も非常にいいので、余計なストレスを感じないのもグッドですね。

しかも『Surface Hub』の場合は、ミーティング

でまとめた内容を、遠隔にいる参加メンバーにその場でデータ共有ができます。打ち合わせ後にいちいちメールを送ってシェアするといった手間がなくなり、効率がアップしました。

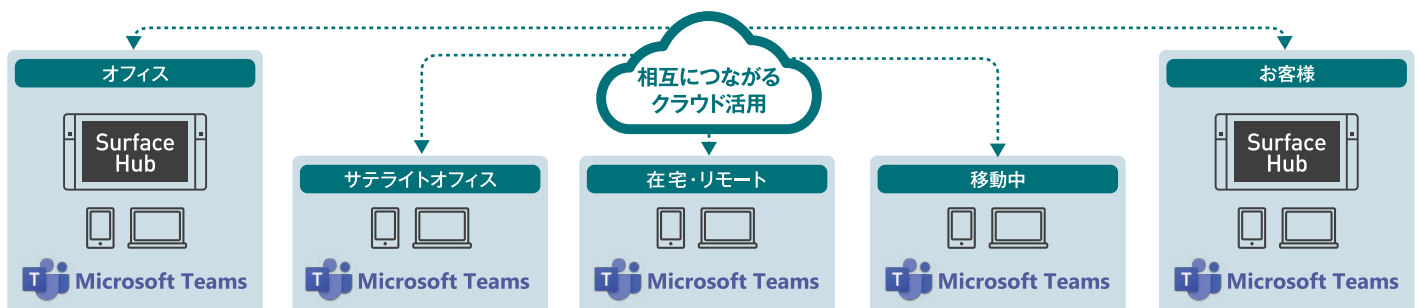
さらに意外な効果として、社内のペーパーレス化が進んだことが挙げられます。参加者全員に簡単にデータ共有ができるようになったので、いちいちプリンターでミーティング内容を印刷する必要がなくなり、印刷枚数がゼロになりました。経費や資源の無駄遣いが減ったのは、本当に大きいですね。

POINT 04 | 働き方の可能性を広げる多彩な機能

その他にも、「Exchange Online」と連携すれば、社員のスケジュールの空き状況がすぐ閲覧できますし、いちいちケーブルを接続しなくても画面共有ができるなど、便利な機能がたくさんあって、

コミュニケーションがとてもスムーズになりました。社員や拠点が増えることがあれば、離れた場所にいる人と簡単にアイデアを共有できる『Surface Hub』の重要性はさらに増してくると

思います。今後、『Microsoft Teams』や『Surface Hub』の次期バージョン^{※1}で更なる機能アップデートを期待しています。社員全員がコラボレーションできる職場環境を実現していきたいですね。



Surface Hub 2S (50インチ)
2019年9月販売開始

※1. 本事例で紹介されているSurface Hubは既に販売が終了しています。現在は、薄型・軽量化され片手でスムーズに移動できるモバイルスタンドが選択できる後継製品「Surface Hub 2S」が販売中です。

お問合せ・お見積りは下記までお願い致します。

シネックスジャパン株式会社

Email: pr@synnex.co.jp

※掲載されている社名又は製品名は、各社の商標又は登録商標です。

©2019 SYNEX Japan Corp.

